

## ■ 東三河農業研究所

現在の施設及びほ場風景  
(平成28年)



袋培地栽培法の開発(平成23年)

専用の袋培地(30l)を用い、水分センサによる少量高頻度かん水を行う栽培システム(特許登録:平成23年5月 三河ミクロン(株)との共同研究) (左:ミニトマト、 右:アオジソ(オオバ))



家畜ふん堆肥の連用効果を利用した露地野菜畑における化学肥料削減技術の開発(平成25年度)



夏季の緑肥作物による環境保全的露地野菜栽培(平成22年)



品種開発のスピードアップを図るため愛知県花き温室園芸組合連合会きく部会と協働したキク新品種の選抜検討会(平成23年9月)



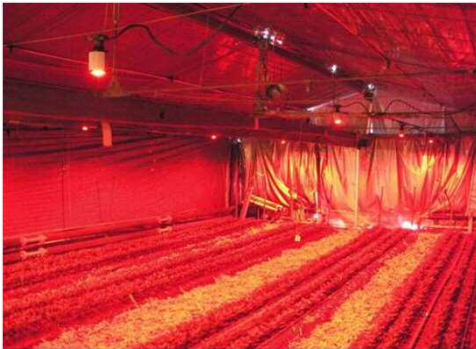
夏秋系黄色輪ギク品種「なつき愛」(流通名:「夏のあゆみ」®)の開発(平成22年)

(特性: 無側枝性があり、到花日数が短く、茎の伸長性に優れ、切り花の日持ちが良い)



秋系ピンク色スプレーギク品種「スプレー愛知秋1号」(流通名:「あいむルーラ」)の開発(平成26年)

(品種特性: 花卉の角度が斜め上方を保ち、比較的高温になる作型でもピンク色の花色を保つ)



キクの花芽分化抑制が可能な赤色LEDの光強度及び間欠照明技術の開発(平成24年)



てん茶の点滴施肥栽培技術の開発(平成18年)



自然仕立て及び弧状仕立てにおいて多肥及び少肥栽培の長期継続がてん茶の収量及び品質に及ぼす影響を調査(平成24年)  
(自然仕立て茶園における摘採作業)



茶園の高圧散水によるチャノドリヒメヨコバイ防除技術の開発(平成24年)